



市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	829.75	2020/7/13
High	850.59	2020/7/13
Low	818.62	2020/7/14
Close	840.50	2020/7/17

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	2855.00	2020/7/13
High	2931.00	2020/7/13
Low	2823.00	2020/7/14
Close	2891.00	2020/7/17

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1974.30	2020/7/13
High	2060.70	2020/7/13
Low	1936.30	2020/7/14
Close	2024.00	2020/7/17

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6786.00	2020/7/13
High	7103.00	2020/7/13
Low	6678.00	2020/7/14
Close	6962.00	2020/7/17



ニュースエクスプレス

アムプラッツ、新型コロナによる鉱山閉鎖期間の損失は52万1600 オンス

ヨハネスブルグ証券取引所上場のアングロ・アメリカン・プラチナム (Amplats)が発表した6月30日付の期末報告によると、新型コロナウイルス感染症拡大に対応した閉鎖などによるPGM 生産の損失は 52万1600 オンスとなった。

プラチナ、パラジウム、ロジウム、ルテニウム、イリジウム(5E)、ゴールドの当期生産は前年比マイナス41%となり、66万5100 オンス。

自社鉱山の生産は前年比40% 減の37万9400 オンス。

しかし同社は新型コロナウイルス感染症拡大による閉鎖期間終了後、露天掘り鉱山と機械化操業で速急に生産が再開できたとしており、部分的にせよ閉鎖期間の減産を補ったとしている。

6月末までに生産は98% 回復。

(ソース: https://www.miningweekly.com/article/amplats-loses-521-600-oz-of-output-amid-covid-shutdown-2020-07-16/rep_id:3650)

プラチナ、パラジウム、新型コロナの影響

リスクヘッジとしてのゴールド取引が活発になり、1700ドル/オンスという十数年来の高値になったことで、プラチナもその恩恵に預かるだろう。ゴールド価格とプラチナ価格は関連性が高く、プラチナの貴金属としての信用度の高さから、状況はプラチナに有利になっているが、現在の極端な値動きはプラチナがゴールド、パラジウムに比べて過小評価されていることを端的に示している。

投資家、中国のプラチナを使う製造業者らはプラチナの安値に既に反応しており、上海黄金交易所(SGE)のプラチナ取引量は昨年の四半期平均の5.3トンから2020年第1四半期は14.2トンに増大している。

WPIC の日本、米国のプロダクトパートナー各社もプラチナ地金バーやコインの販売が増加している旨を報告している。

ガソリン乗用車が主な中国では、新型コロナウイルス感染症の拡大にもかかわらず、生産が回復しており、そのためパラジウムの需要は、今年は昨年より増加するとみられる。同様に欧州でも、公道路上排ガス試験とユーロ 6d Temp 排ガス基準に適用するため、パラジウムをより多く浄化触媒装置に使う必要があり、2019年のパラジウム需要は増加した。このような中国と欧州の状況下でのパラジウム需要増は、2020年の減少を相殺するとみられる。

(ソース: <http://businessmediamags.co.za/mining/sa-mining/platinum-palladium-and-covid-19-the-value-impact/>)

プラチナベースの燃料電池、新型コロナ後の航空業界がよりグリーンな未来へ羽ばたく手助けとなるか

航空機からの排出ガスはイギリスでだけでも大気汚染物質全体の7%を占めている。新型コロナウイルス感染症拡大以前から有害な排ガスを削減するよう強く求められていた航空業界は、2050年までに排出ガスゼロを宣言。

このような状況を背景に、有害な物質を全く排出しないプラチナ触媒を用いた燃料電池技術の開発は新たなジェット機のエンジンとしても有望視されている。

水素燃料電池は高いエネルギー密度を誇り、短時間の燃料補給が可能なこと、さらに高い耐久性から、航空機の新たなパワートレインとして期待が寄せられており、脱炭素化を進める航空業界では水素燃料電池エンジンが今後主要になると予測する専門家もいる。

英国政府はまた、新型コロナウイルス感染症終息後のイギリス航空業界がゼロエミッション飛行達成に向け環境に配慮したグリーンなスタートができるよう Jet Zero Council を設立することも発表した。

(ソース: <https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2020/07/15>)

Translated by Kazuko Osawa, JBMA

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。



WPIC直近の活動

- 2020年7月の「プラチナ展望」は販売データからみる自動車業界のポジティブなプラチナ需要トレンドについて解説いたしました。プラチナの年間需要量の約40%を占める自動車産業の状況はプラチナ投資家らの不安材料となっているが、詳細データを見るとプラチナ、そしてディーゼル車にとっては有利な状況が見えてくる。詳しくは https://platinuminvestment.com/files/845336/WPIC_Platinum_Perspectives_July_2020.pdf

- プラチナベースの燃料電池、新型コロナ後の航空業界がよりグリーンな未来へ羽ばたく手助けとなるか? WPIC最新のプラチナ豆知識「より高くより遠くへ」(2020年7月15日)をごらんください。 <https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2020/07/15>

- WPICのオフィシャルFacebookとTwitterアカウントを開設されました。下記QRコードでフォローのほど、何卒よろしくお願いたします。



(@wpcjapan)